

予定	重要項目	事務局による検討	協議内容	協議結果
(第2回) 令和2年 9月頃	①施設規模 の決定 (日処理量)	<p>将来のごみ発生量の予測</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口、事業所数、観光客数等の予測</li> <li>・ごみ減量化目標の設定</li> <li>・プラスチックごみ混入率等の設定</li> <li>・災害廃棄物処理量の設定 (必要処理能力の5%~10%見込む) 等</li> </ul>	<p>適正規模の提示</p> <p>(例として)</p> <p>86 t/日 (43 t/日 × 2基 × 24h)</p> <p>∩</p> <p>96 t/日 (48 t/日 × 2基 × 24h)</p>	<p>〇〇 t/日</p> <p>(◇◇ t/日 × 2基 × 24h)</p>
(第3回) 令和2年 10月頃	視 察			
(第4回) 令和2年 10月頃	②焼却方式 の決定	<p>本市の可燃ごみの特性把握</p> <p>焼却方式の特性比較</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃焼の安定性、操作性</li> <li>・ 耐久性、維持管理性</li> <li>・ CO2排出量等環境への適合性</li> <li>・ イニシャル、ランニングコスト</li> <li>・ 分別方法、収集体制への影響</li> <li>・ 焼却灰や残さなどの処理方法 等</li> </ul>	<p>比較表の作成</p> <p>ストーカ方式 流動床方式 ガス化熔融炉方式 等</p> <p>+</p> <p>生ごみ発酵方式</p>	<p>〇〇方式</p>
(第5回) 令和2年 12月頃	③排ガス 自主規制値 等の決定	<p>排ガス自主規制値の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周辺地域への排ガス拡散濃度計算</li> <li>・ 排ガス処理設備、機械構成、安定性 等</li> </ul> <p>煙突高の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 航空法上の規制への対応</li> <li>・ 高さによる排ガス拡散濃度計算 (EX. H=40m、59m、80m、100m)</li> <li>・ 景観性、視認性 等</li> </ul>	<p>自主規制値の提示</p> <p>ダイオキシン類 塩化水素 窒素酸化物 硫黄酸化物 水銀 ばいじん 等</p> <p>比較表の作成</p> <p>煙突高の比較 (例として)</p> <p>H= 40m H= 59m H= 80m H=100m</p>	<p>各物質の自主規制値 等</p> <p>煙突高 H=〇〇m</p>
(第6回) 令和3年 1月頃	視 察			
○その他、基本設計にあたり、必要に応じて検討委員会に意見聴取を行う項目				
(第7回) 令和3年 3月頃	エネルギー利用方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球温暖化対策への取組み</li> <li>・ 発電能力及び使用可能量</li> <li>・ エネルギーの利用先 (パッカー車、道路融雪、蒸気供給等) 等</li> </ul>	(第9回) 令和3年 5月頃	<p>施設運営に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動線計画</li> <li>・ 渋滞、交通事故対策</li> <li>・ 作業性 等</li> </ul>
(第8回) 令和3年 4月頃	防災機能に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震性能</li> <li>・ 豪雨、豪雪対策</li> <li>・ 避難所機能 等</li> </ul>		<p>建物意匠等に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物構造</li> <li>・ 高さ、幅、形状、色彩、仕上げ 等</li> </ul>
	環境学習に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示、映像、体験学習機能 等</li> </ul>	令和3年 7月頃	<p>パブリックコメントの実施</p> <p>基本設計の策定</p>